

## 宇都宮市立清原北小学校 第6学年 児童質問紙

### ★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「先生は、あなたのよいところを認めてくれると思いますか」の質問では、肯定回答が100%であった。今後も学校行事等、児童が活躍する場を積極的に設け、児童の頑張りを認め、褒め、励ます指導を続けていく。

○「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の質問では、肯定回答が100%であった。引き続き、いじめゼロ強調月間やいじめゼロ集会、道徳の授業などで指導を続けていきたい。

○「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の質問では、肯定回答が95.5%、「人が困っているときは、進んで助けていますか」の質問では、肯定回答が90.9%であった。普段から誰かのために働きたいという気持ちをもち学校生活を過ごしていることが分かる。

○ICTに関する質問では、学校の様々な場面で活用している様子が分かる。さらに、「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強に役立つと思いますか」という質問では、肯定割合が100%であった。今後も、使うことを目的にするのではなく、活用することで一人一人の学習支援につながるような活用方法を考え、実施していきたい。

●「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことは守っていますか」の質問では、肯定回答をしている児童が多い。その反面、「携帯電話・スマートフォンは持っているが、約束はない」と答える児童の割合が全国や県の平均を上回っている。引き続き、情報モラルの内容を扱った授業を行うとともに、家庭への啓発も行っていきたい。

●平日に、テレビゲームや動画視聴をする時間について尋ねる質問では、「4時間以上」と答える児童が全国や県の平均を上回っている。また、平日に、勉強をする時間について尋ねる質問では、「30分以上、1時間より少ない」と答える児童が全国や県の平均と比べて多く占めている。そして、「家で自分で計画を立てて勉強をしているか」という質問では、肯定割合が54.6%と国や県の平均を下回っている。以上のことから自分で学習の計画を立てられず、時間があればゲームや動画視聴を優先してしまう児童が多いという実態が考えられる。6年生の学習目安の1時間は行うことを推奨し、計画性をもって学習に取り組めるように指導を続けていきたい。

●「自分にはよいところがあると思いますか」という質問では、肯定割合が全国や県に比べ下回っている。一人一人の良さを学級全体で認め合い、自己肯定感を高められるような支援を続けていきたい。

## 宇都宮市立清原北小学校（第6学年） 学力向上に向けた学校全体での取組

### ★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

| 重点的な取組                             | 取組の具体的な内容                                                                                                                     | 取組に関わる調査結果                                                                                                                                                  |
|------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 児童一人一人の達成感や<br>成就感を高めるための指<br>導の工夫 | ・学習意欲を高める導入の工夫や、めあ<br>ての提示と見通し、学習の振り返りを徹<br>底した授業づくり<br>・ユニバーサルデザインの視点を取り入<br>れた教材や授業展開の工夫<br>・デジタル教材やタブレット等のICT機器<br>の効果的な活用 | 「学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブ<br>レットなどのICT機器を、どの程度使っています<br>か。」という質問では、肯定割合が全国を上回っ<br>ている。「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を<br>使うのは勉強に役立つと思いますか」という質問で<br>は、肯定割合が100%であった。 |

### ★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

| 調査結果等に見られた課題                                                                            | 重点的な取組       | 取組の具体的な内容                                                                                        |
|-----------------------------------------------------------------------------------------|--------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ・児童質問紙において、「学校の授業時<br>間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1<br>日あたりどれくらいの時間、勉強をしま<br>すか」の肯定割合が、国・県と比べて低い。 | ・家庭学習の充実と習慣化 | ・自分で計画を立てて家庭学習に取り組めるような<br>宿題の出し方や内容の工夫<br>・自主学習の内容例や取組方法の提示、よい実践<br>の紹介<br>・自主学習の取組を認め、励ます機会の設定 |